【資格の大原　静岡校・沼津校】
2021 年宅建士試験　合格体験記

Ｊｙｕｎｋｏ　Ｆｕｊｉｋａｗａ

藤　川　　純　子

２０１９年　宅建士合格コース・入門パック
沼津校受講
２０２１年　宅建士試験　合格（受験回数３回）

　宅建士資格取得への挑戦は、事業経営で不可欠な不動産について幅広い知識を身に着けることができる、との理由から。仕事も家事も今まで通りこなす傍ら受験勉強を開始。授業のある日は、早めに教室に入り最前列の席を確保。授業前の明るく楽しいおしゃべりから、授業開始後は真剣な眼差しに一変。授業中は集中力を切らさず、講師が説明するポイントをすばやくメモする受講姿勢が印象的。宅建士に合格した今、益々エネルギッシュに仕事に励みつつ、小学校でパソコン授業の先生をする等、社会貢献にもご尽力される藤川さんに、この度、合格体験記を寄稿して頂きました。

初 志 貫 徹!!

■はじめに

　令和３年 12 月１日、運命の合格発表を迎え『令和３年度 宅地建物取引士資格試験』に合格出来ました。何を隠そう私は、資格の大原　沼津校で、宅建士合格コースの土曜クラスを３回受講しました。2019 年の民法改正前と、2020 年の民法改正後の両方の勉強を経験した受験生。さすがに３年目の受講は入門期の１月からではなく、４月からの基礎期から通いました。いつも一番前の席で座布団持参、１日も休むことなく受講しました。

そんな私がこの合格体験記を執筆する事になるなんて本当に夢のようで、石田先生はじめ先輩ＯＢ、ＯＧの皆様や共に勉強をして来た仲間に心からお礼を申し上げたいです。

■宅建士への挑戦

　何故、私がこの宅建士試験合格にこだわり、ここまでモチベーションを継続出来たかについて申し上げますと、会社役員である私にとって、宅建士の幅広い知識が魅力的だったからです。私の会社の業種は資源回収業、産業廃棄物収集運搬で、設立から 21 年になります。様々な改革を行いながら FP2 級を取得し、更に資産設計提案業務の出来る AFP として 2018 年は自らが事業計画を起こし、国から 1,000 万円の資金を提供される「ものづくり補助金」に挑戦し採択され、この採択が業種別では日本で第一号の実績に至りました。丁度、その最中に私は次の宅建士への挑戦を始めました。会社を守って行く為に必要であろう民法の知識、金融関係や人間関係に必要であろう知識、この先の業務拡張に備え土地建物の売買、賃貸、道路使用や遵守しなければならない法律、保険や税金について等、その他 沢山の知識を網羅できる宅建士の内容が、魅力に溢れていると感じたからです。だからと言って、頭の中が勉強や仕事の事だけではなく、家事も地域貢献も人並みにこなしてきました。あくまでも家族に迷惑をかけず、普段通りの生活をキープしながら、それ以外の余暇で勉強する体制でしたので、毎晩の勉強は早くても夜の 11 時頃から深夜 1 時頃か、それを過ぎていました。

　気になる試験結果は 2019 年 31 点（合格基準点 35 点)、2020 年 35 点（合格基準点 38 点)、2021 年 36 点（合格基準点 34 点）と、じわじわとゆっくり上がってきたと言う感じです。

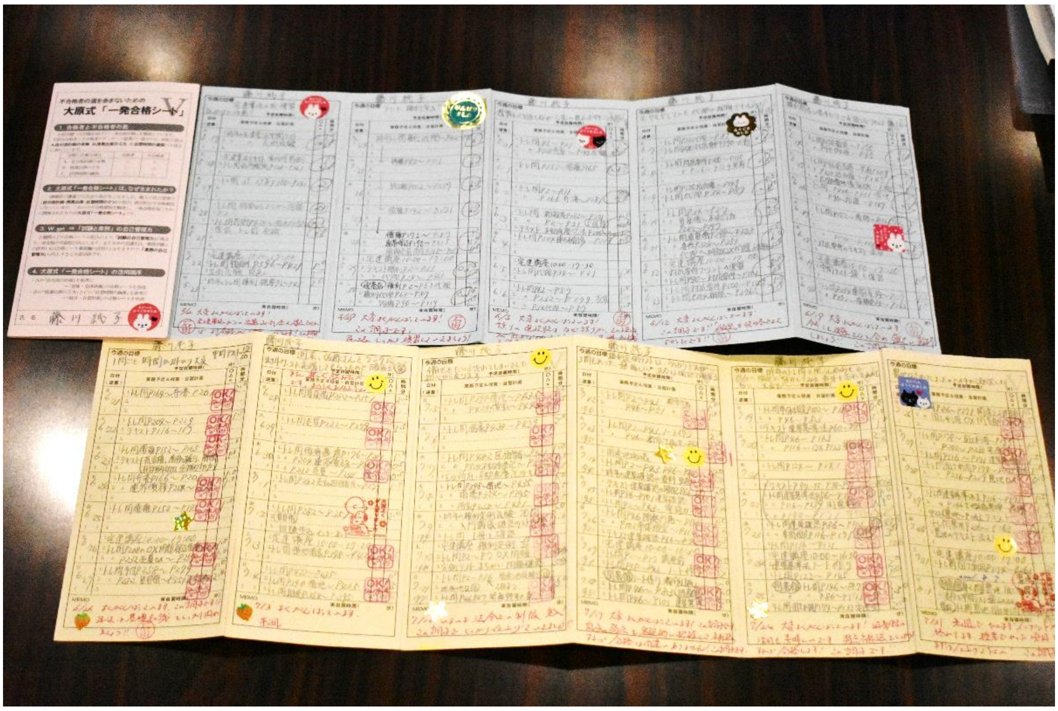
■受験仲間との出会い

沼津校（および静岡校）の宅建士講座教室通学では合格者座談会があったり、お食事を兼ねて OB・OG の先輩宅建士の皆さんと受験生との楽しい交流会もあり、そこで勉強方法を教わったり、意欲向上に繋がる励ましのメッセージを頂いたり、楽しく切磋琢磨しながら頑張る事が出来ました。私は 2 度の敗退の時、たくさんの仲間を見送る立場でしたが、不思議な事に合格して去って行く仲間の事を心から喜ぶ自分がいました。何故、自分は同じ勉強をしているのに落ちてしまったんだろうと、当然 苦しい葛藤もありましたが今でも良いお付き合いが続いています。

この 1 年は、コロナ禍のため集まる企画はなくなりましたが、石田先生のご配慮でオンラインによる交流の場を設けて頂き、久しぶりにお会いできた仲間の皆さんの元気な様子を拝見し、合格に向けての勉強法やエールを頂くなど、新鮮な思いで勉強意欲を高める事が出来ました。こうして私は石田先生や資格の大原　沼津校の皆様のお陰で合格出来たのです。

■毎日の勉強について

講義を受講した当日の夜、その日のうちに過去問に取り組み、次週の講義までに最低 3 回転は過去問を繰り返す事を自分に言い聞かせて実行しました。その全ての過去問は最終的に 7 回～10 回程繰り返しました。毎日の学習は「一発合格シート」に記載し、勉強をたくさんやった時にはとても満足感があり、勝手に喜び不安を解消していました。4 月から始まり、試験日までのシートの枚数は裏表ぎっしり書かれ 5 冊以上になりました。毎週、石田先生はコメントを記入して励ましてくれました。可愛いシールを貼って下さり、石田先生の情熱やお茶目さが微笑ましく頼り甲斐がありました。また、わからない問題はメールで随時、石田先生が対応してくださり、次の講義前に直接質問しても、丁寧に黒板に図を書いて説明して下さいました。



■分野別学習法について

【権利関係】

私が一番苦手としている分野でした。結局、この分野に最後まで悩まされましたが、先生は毎回の講義でしつこいくらいに丁寧に図を書き、ジェスチャーや一人芝居で楽しませてくれました。冗談を交えた例え話しや実際に先生が経験したお話しもリアルで楽しかったです。権利関係はまず、図を書いて考え方を理解する！なかなか難しいですが石田先生は理解出来るまで教えてくれました。

【宅建業法】

理解し易く、点数も取りやすい分野だと思います。その分、些細な言葉のひっかけ等に注意を払う事が大切な分野で、解いていくと楽しくなってくるかも知れません。私の唯一、高得点が取れた分野でした。過去問の繰り返しで早めに定着出来ると思います。

【法令上の制限】

暗記一色と言える分野なので、単語カードの活用や、用途地域・用途制限はテキストにある一覧の表を拡大して色を塗り分けて自分が良く居る場所の目に付くところに貼っておくと良いと思います。

【税・その他】

苦手だと諦めてしまうには勿体ない分野だと思います。他の分野に比べたら範囲が狭いと思うので、ここでの１点は貴重だと思います。特に５問免除問題は少しの学習時間で得点に繋がり満点が期待出来ます。

以上、簡単ですが、私が３年間の勉強で得た感想です。各分野の最後には定例試験があり、基礎演習問題や、総まとめ問題で苦手意識がある問題を克服する事も出来ます。資格の大原では、本試験前に模擬試験を実施して、苦手な分野の分析も行ってもらえます。そして常に石田先生がバックアップしてくれる事は心強いです。

■受験生の皆さんにお伝えしたい事

私は３回も石田先生の講義を聴いてしまった（笑）生徒ですが、この通算３年間は私に必要な時間だったのだと感じています。人の生活環境や時間の使い方には決まりがなく、それぞれ色んな重荷を背負っていながら尚且つ、余暇を作り勉強をするので、容易い事ではないと思います。同じ勉強を繰り返す事はしんどいと思うかもしれませんが、決してそうではなく前年の勉強で得た知識は割と覚えていて、先生の講義も一層理解できるし、過去問も困らず解けて楽しくなります。問題を難なく解ける喜びもあり、辛い面倒な事ではありませんでした。一発合格は本当に素晴らしい事ですが、数年かけて得る知識も有りなのだと思います。一生のうちのたった数年間を、じっくり！ゆっくり！と勉強を進めて合格を極めるという目標も結構、良いのではないかと感じます。

仕事が忙しいから・・・歳だから・・・等、諦めないで是非、目標に向かって合格を勝ち取って頂きたいと思います。「継続は力なり」、「努力に勝る天才なし」の精神で！

そして毎日、寝る前には、宅建士試験に合格したら何をしよう？何を買おう！とワクワクする目標を描いて眠りに就く毎日であって欲しいと思います。

合格してから、まだ数日しか経っていませんが、既に不動産業や金融業、保険、証券会社などの各方面からお祝いと激励の言葉を頂いております。自分自身との闘いであった苦しい試験勉強の日々は「合格」同様に、その頑張って来た道のりが今では人生の宝物になりました。

長々と読んで頂き、ありがとうございました。資格の大原　沼津校の受講生の皆さんの合格を祈念しております。頑張ってくださいね！　宅建士講座 OG として応援をしています！

合格おめでとうございます！藤川さんの今後、益々のご活躍を祈念しております！

写真右）　資格の大原　静岡校　沼津校　宅建士講座講師　石田俊一